

# 個人株主の動向について

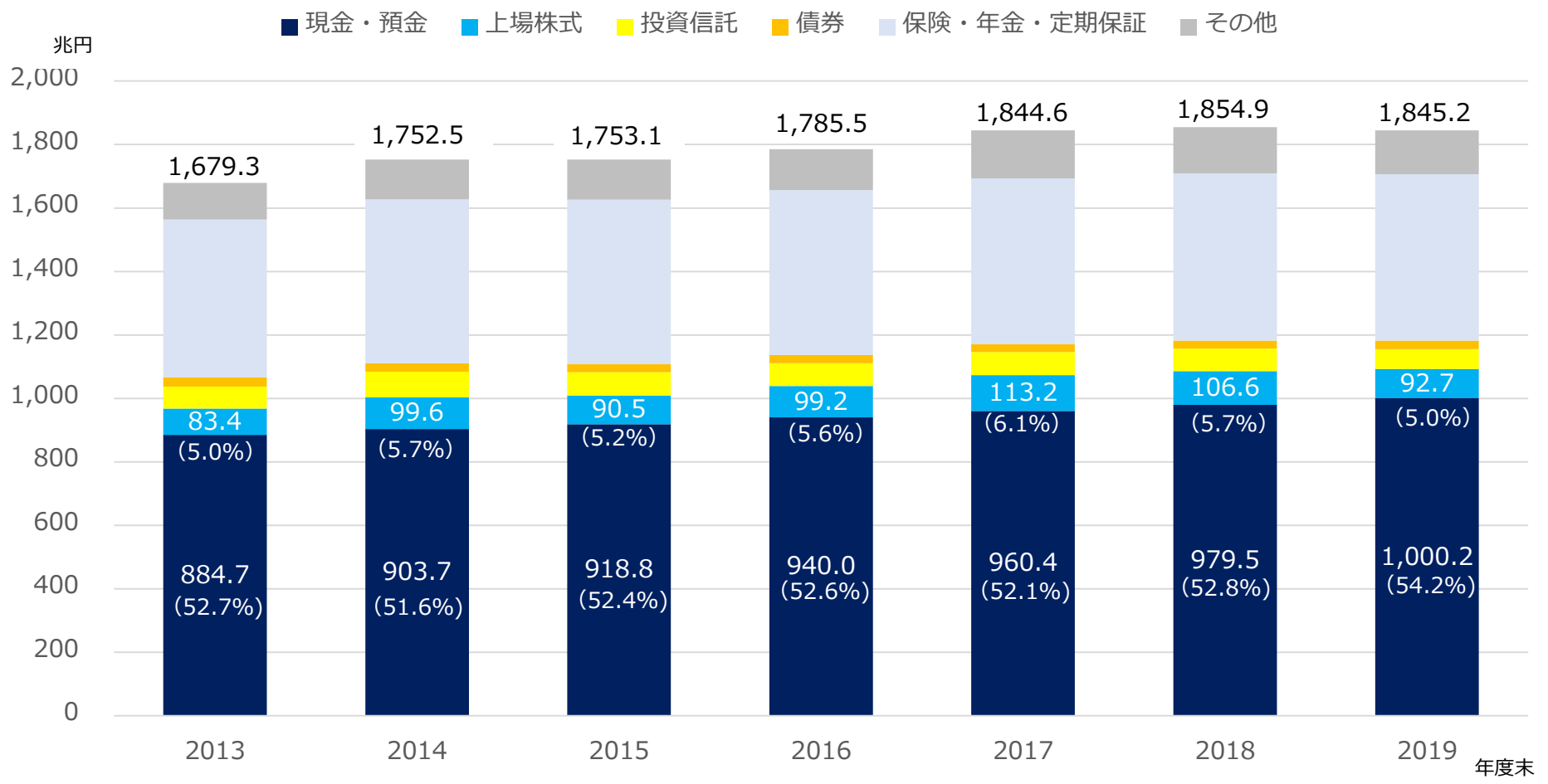
2020年9月16日  
日本証券業協会



# 1. 個人の株式保有状況

# 1-1 個人金融資産に占める株式の状況

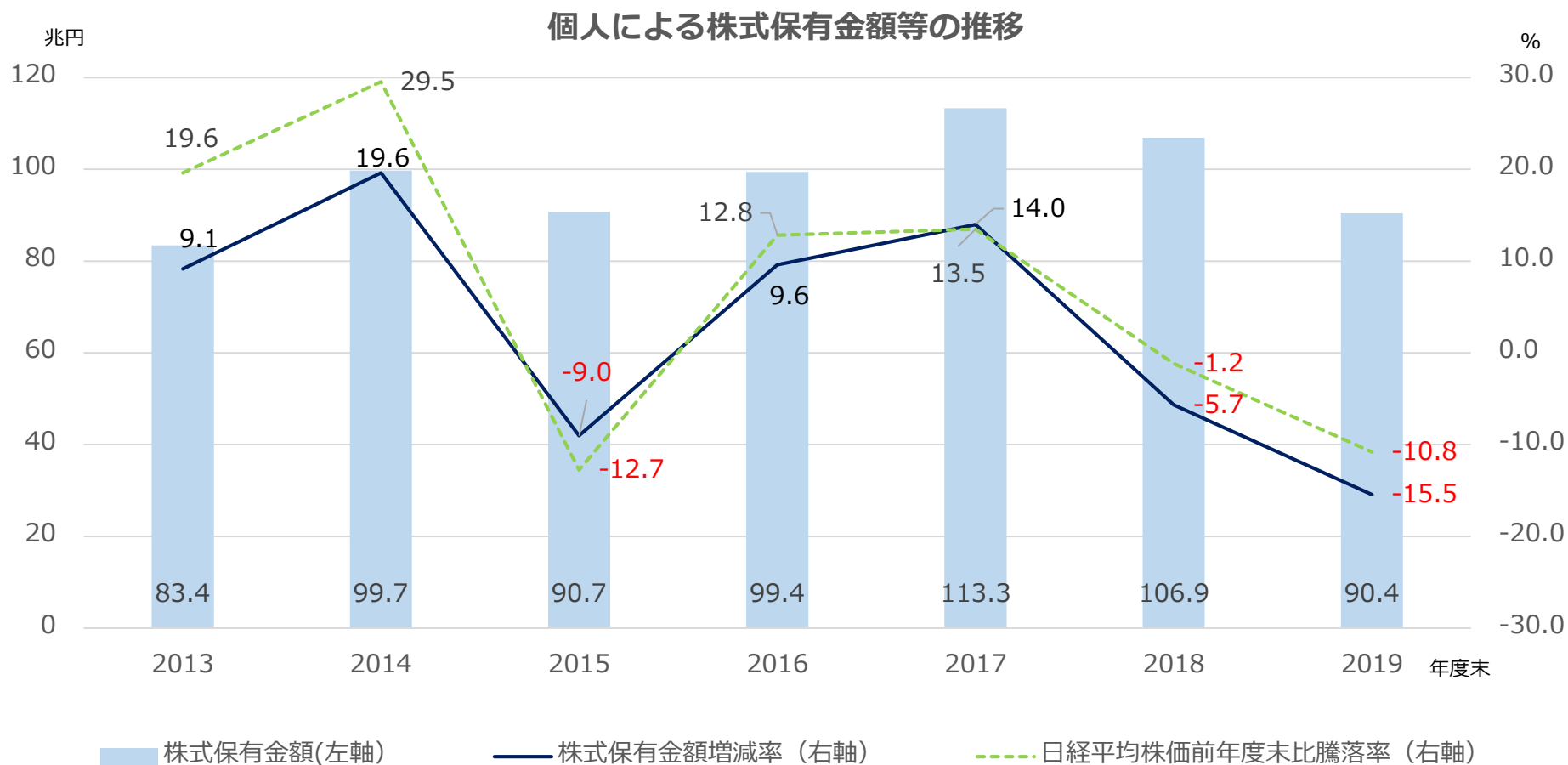
○ 2019年度末の個人金融資産残高は1,845兆円となった。内訳は、現金・預金が全体の54.2%を占め、上場株式は5.0%となった。



(注) 括弧内の数値は、現金・預金又は上場株式の個人金融資産に占める割合  
 (出所) 日本銀行「資金循環統計」(2020年6月25日公表データ)

# 1-2 個人の株式保有金額 (東証「株式分布状況調査」)

○ 2019年度末の個人の株式保有金額は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた株価下落の影響を受け、前年度比16.5兆円減の90.4兆円となり、3年振りに100兆円を下回った。

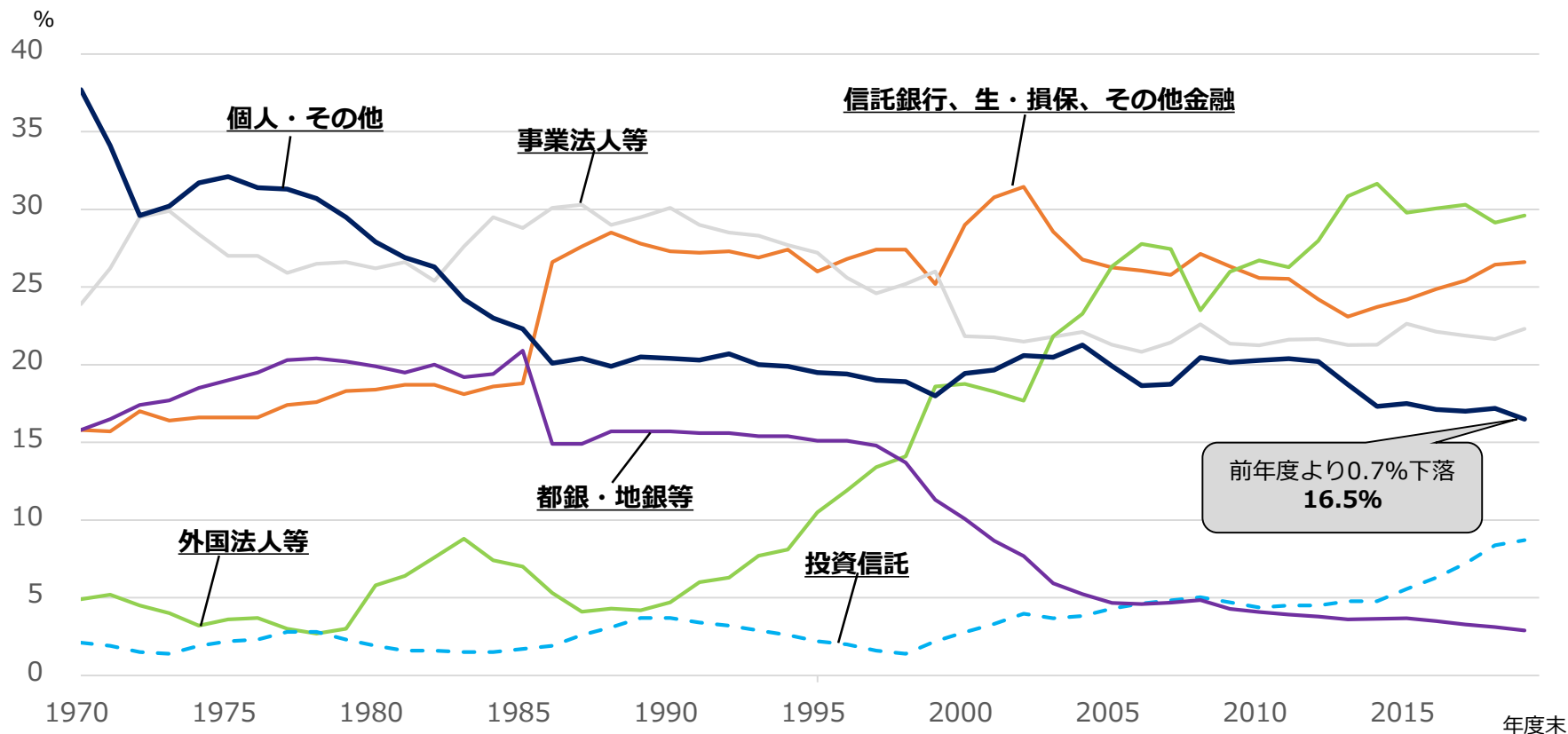


(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」、日本経済新聞社

# 1-3 個人の株式保有比率(金額ベース)

## (東証「株式分布状況調査」)

○ 個人の株式保有比率は、2019年度末は16.5%(投資信託等間接保有分は除く。)となり過去最低を更新した(これまでの過去最低は2017年度末の17.0%)。



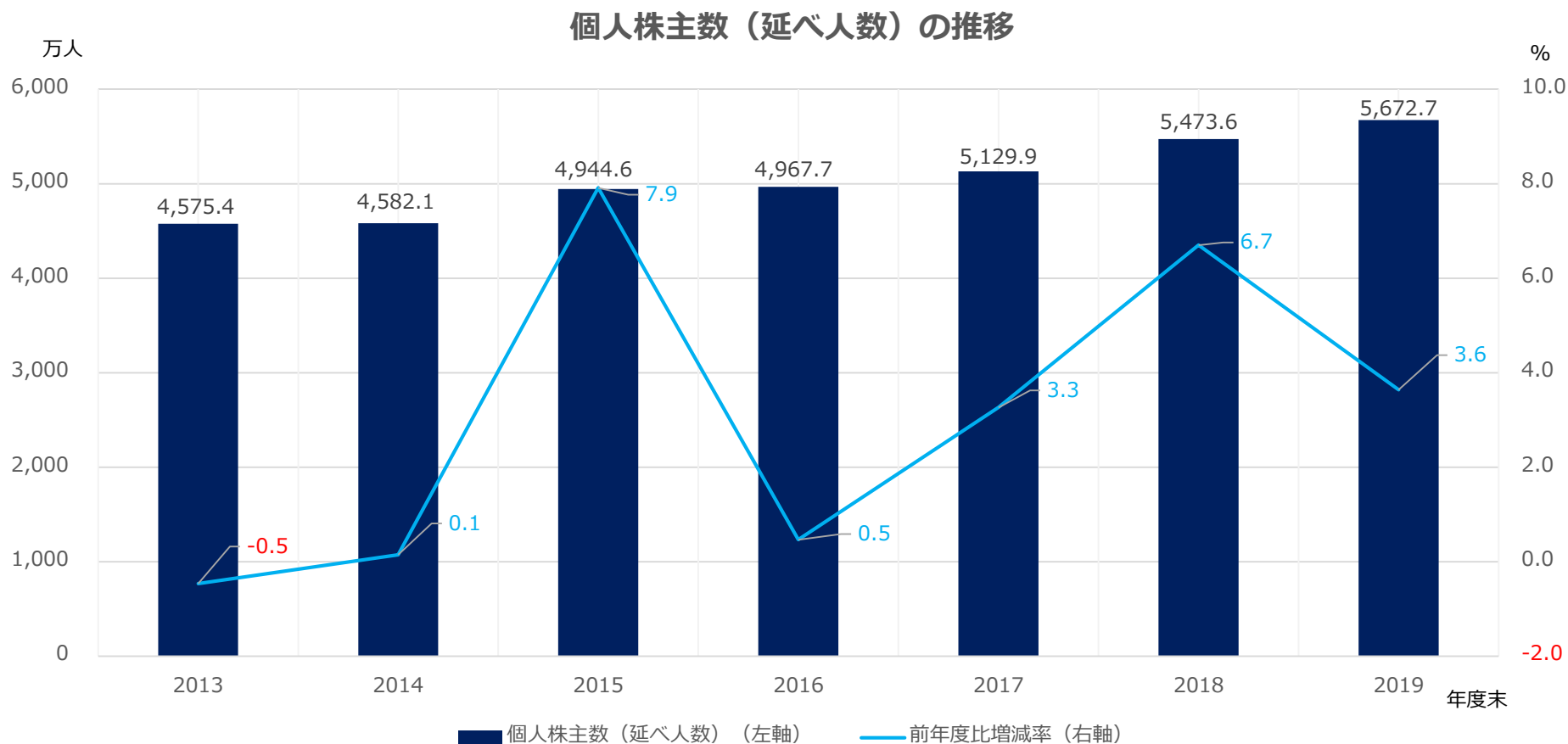
- (注) 1. 1985年度以前の信託銀行は、都銀・地銀等に含まれる。  
 2. 2004年度から2009年度まではJASDAQ証券取引所上場会社分を含み、2010年度以降は大阪証券取引所又は東京証券取引所におけるJASDAQ市場分として含む。  
 3. 「投資信託」については「都銀・地銀等」と「信託銀行」に含まれる内訳数値を表示。

(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」

## 2. 個人株主数

# 2-1 個人株主数(延べ人数) (東証「株式分布状況調査」)

○ 2019年度末の個人株主数(延べ人数)(注)は、6年連続して増加し、前年度比199万人増の5,672万人となった。

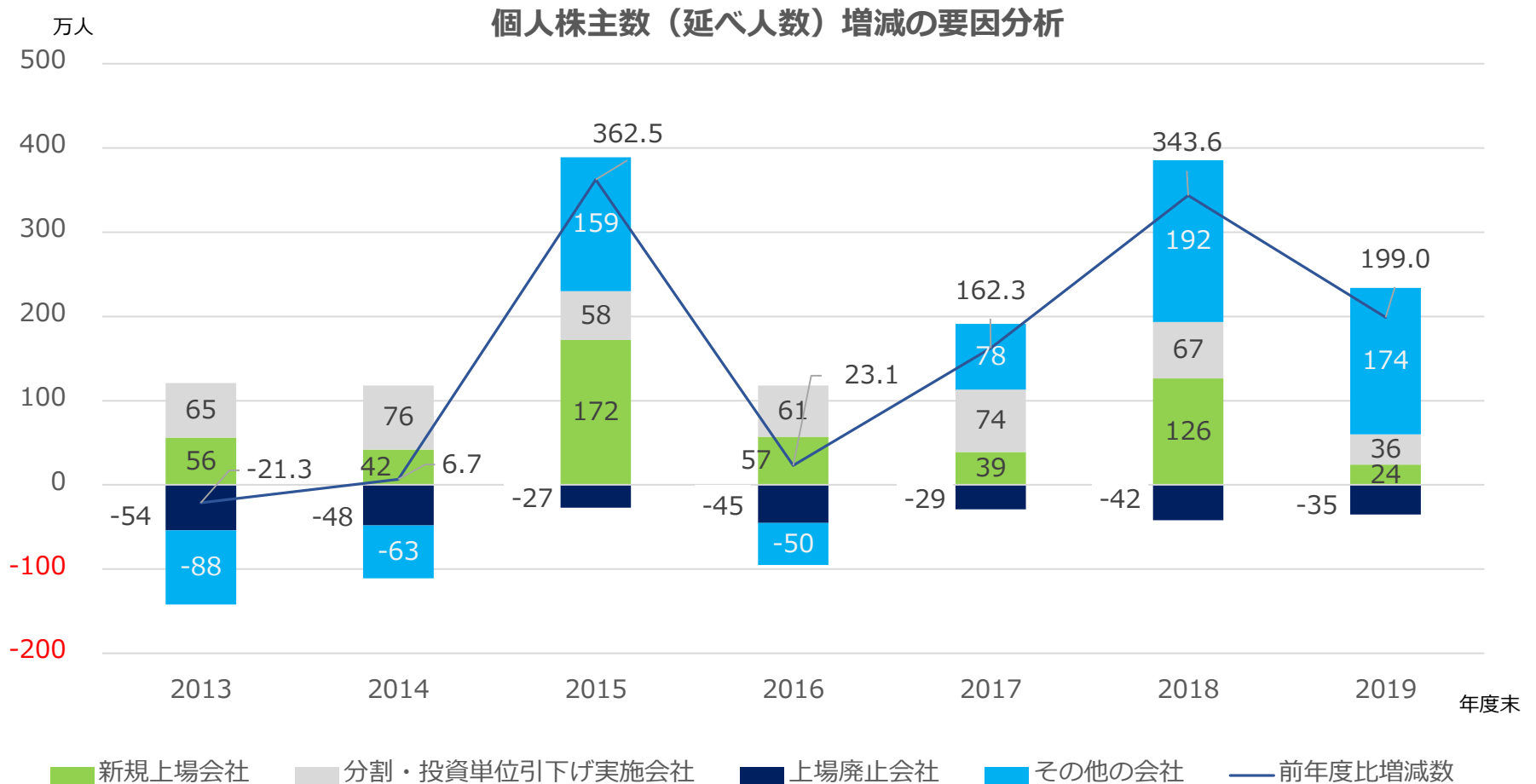


(注) 「個人株主数(延べ人数)」とは、各上場会社の個人株主数を単純に合算したものである。例えば、ある個人株主が1人で10銘柄保有している場合に、「株式分布状況調査」では銘柄間の株主の名寄せがされないため、個人株主数10名とカウントしている。

(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」

# 2-2 個人株主数(延べ人数)増減の要因分析 (東証「株式分布状況調査」)

○ 個人株主数(延べ人数)の増加要因をみると、2019年度は前年度に見られた大型の新規上場はなく、新規上場等以外のその他の会社が8割強を占めている。



(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」

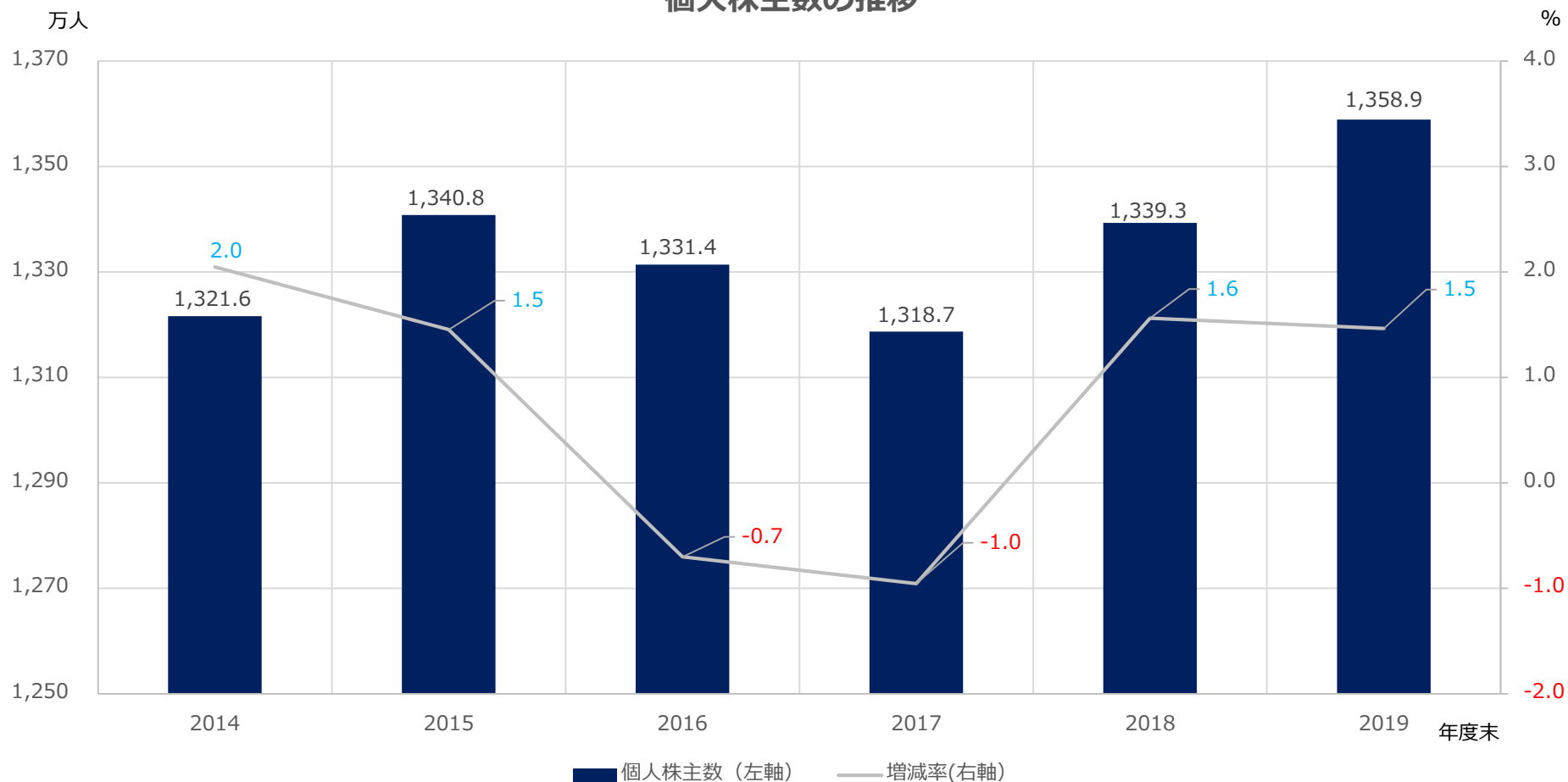


# 2-3 個人株主数の推移

(証券保管振替機構「株式等振替制度5 属性別株主数状況(人数)」)

○ 2019年度末の個人株主数は、2年連続して増加し1,358万人となった。

個人株主数の推移



(注) 「個人株主数」は、居住者と非居住者を合算したもの。

(出所) 証券保管振替機構「株式等振替制度 株式5 属性別株主数状況 (人数)【6か月累計】」

# 2-4 個人株主一人当たりの保有銘柄数

○ 個人株主一人当たりの保有銘柄数は、近年増加傾向にあり、2019年度末は4.17銘柄と、分散化が進んでいる。

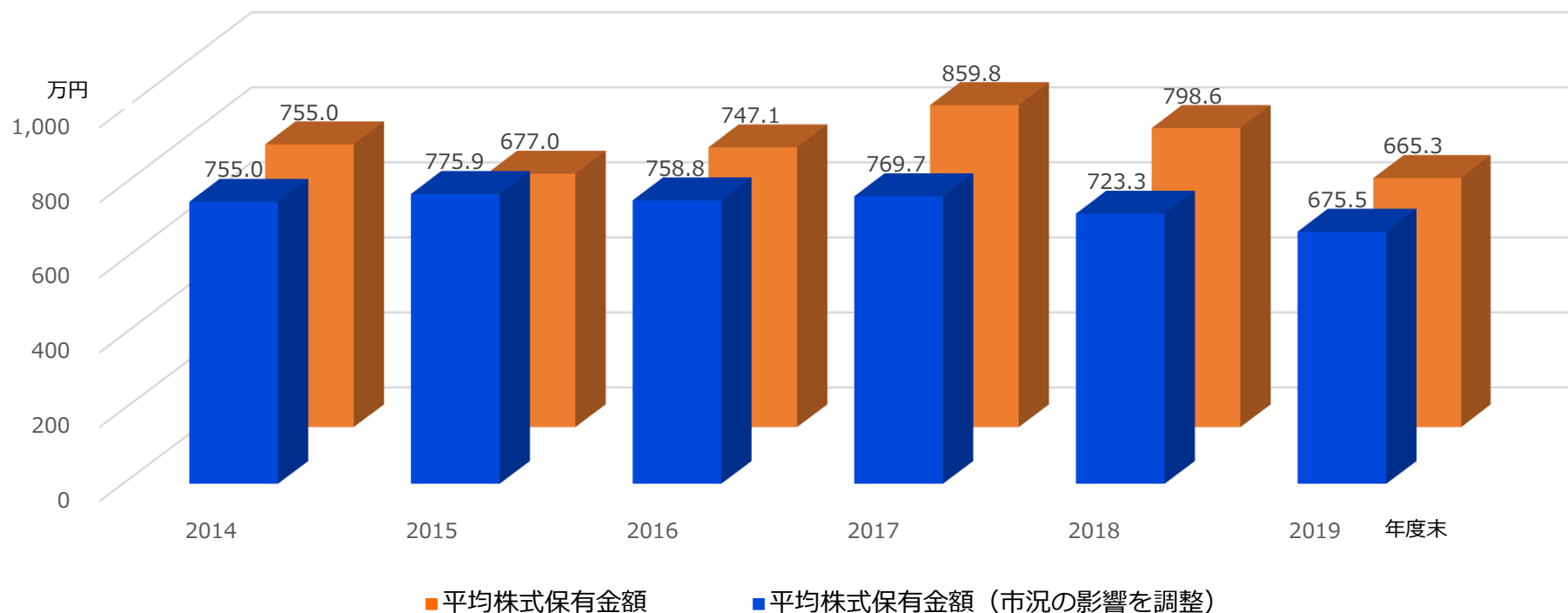


(注) 個人株主一人当たりの保有銘柄数は、個人株主数(延べ人数)【東証データ】を個人株主数【保振データ】で除して算出。

(出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」、証券保管振替機構「株式等振替制度 株式5 属性別株主数状況(人数)【6か月累計】」

# 2-5 個人株主一人当たりの平均株式保有金額の推移

○ 個人株主一人当たりの平均株式保有金額は2年連続で減少し、個人株主数が徐々に増加している中で小口化傾向にある。



- (注) 1. 平均株式保有金額は、年度末の個人の株式保有金額残高（金額）【東証データ】を個人株主数【保振データ】で除して算出。  
2. 平均株式保有金額（市況の影響を調整した推計値）は、個人の株式保有金額を2014年度末の日経平均株価を基準とした各年度の日経平均株価の騰落率で除して算出し（例えば日経平均株価が2倍になった場合は、株価上昇による株式保有金額の増加を排除するため2で除する）、調整後の個人の株式保有金額を個人株主数で除して算出。
- (出所) 東京証券取引所「株式分布状況調査」、証券保管振替機構「株式等振替制度 株式5 属性別株主数（人数）【6か月累計】」、日本経済新聞社。

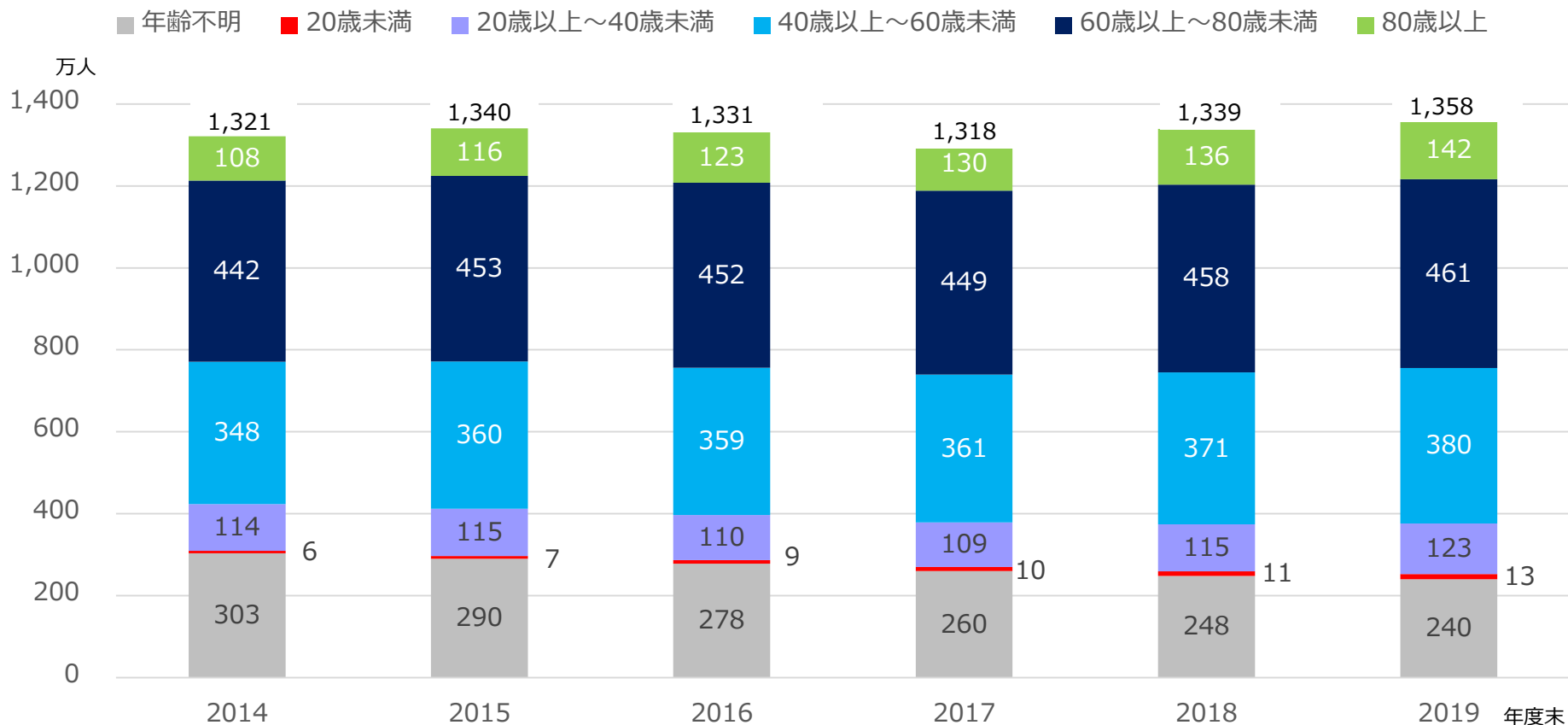
## 参考. 年齢別の個人株主数について

# 【参考1】個人株主数の推移(年齢別人数)

(証券保管振替機構「株式等振替制度 株式7 年齢別株主数分布状況(人数)」)



○ 2019年度末の個人株主数1,358万人のうち、年齢不明は240万人で約2割を占める。年齢が把握可能な個人株主については、高齢者が増加している。

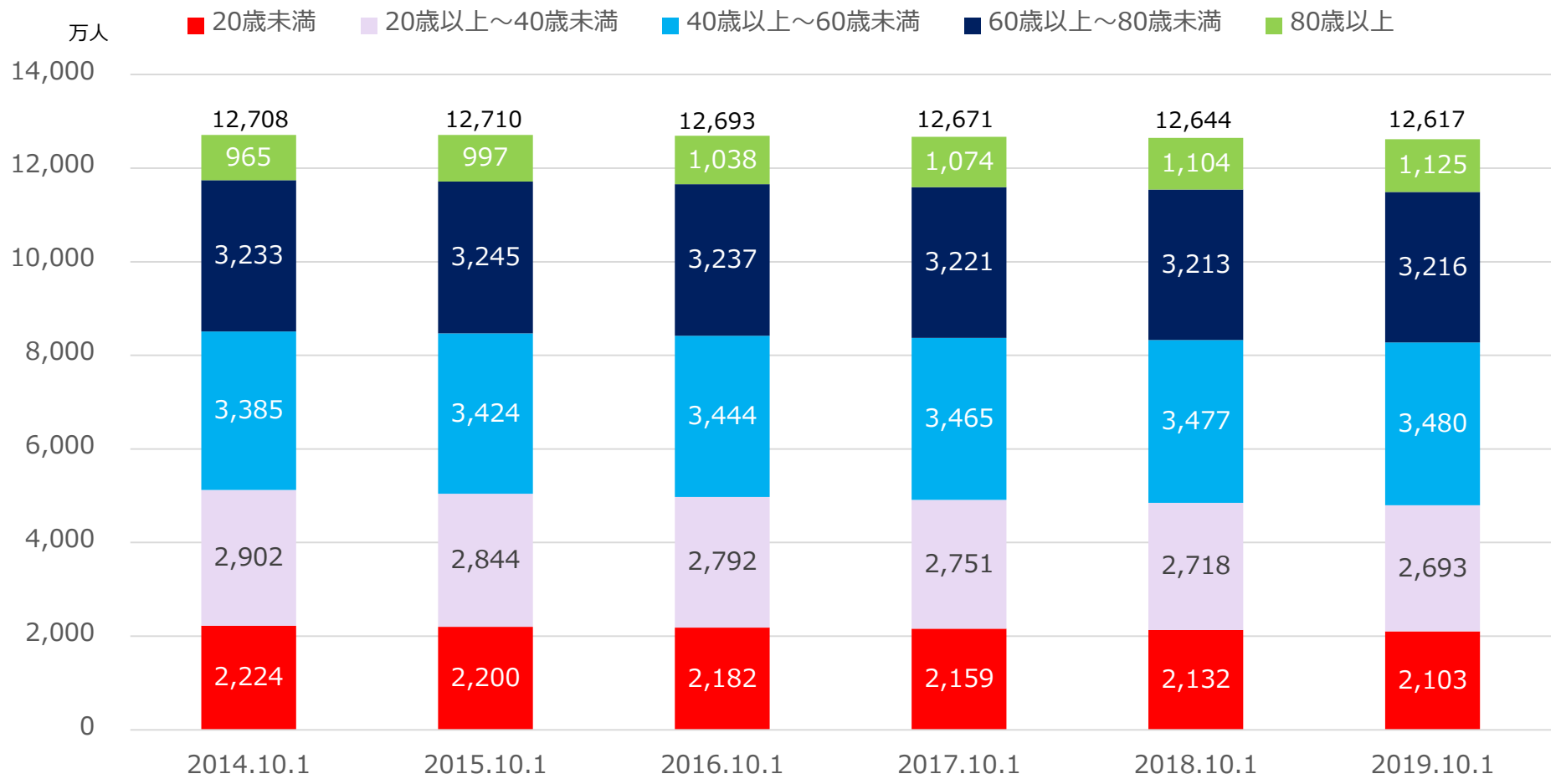


(注) 「年齢不明」は、株券電子化移行時に証券保管振替機構へ預託されていない株式等について、その時点の株式名義で上場会社が信託銀行等に開設した特別口座であり、生年月日が把握できないため「年齢不明」としている。

(出所) 証券保管振替機構「株式等振替制度 株式7 年齢別株主数分布状況(人数)【6か月累計】」

# 【参考2】日本の総人口の推移

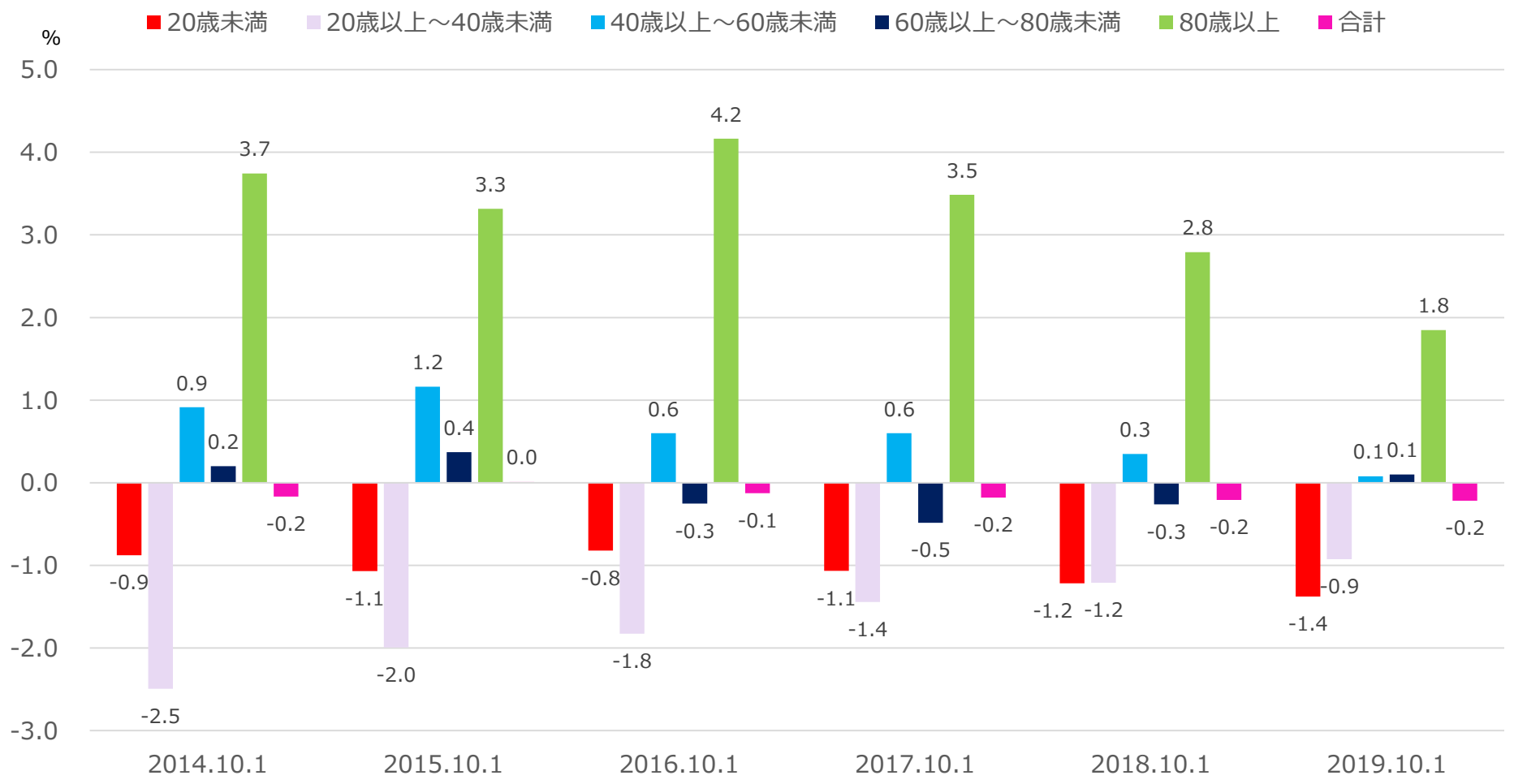
○ 日本の総人口は、年々減少傾向にあり、2019年10月1日時点で1億2,617万人。



(注) 総務省統計局「人口推計」は千人単位で算出していることから年齢区分ごとの合計と、公表されている人口推計合計は一致しない。  
 (出所) 総務省統計局「人口推計」

# 【参考3】日本の総人口の推移 (年齢区分別の増減率)

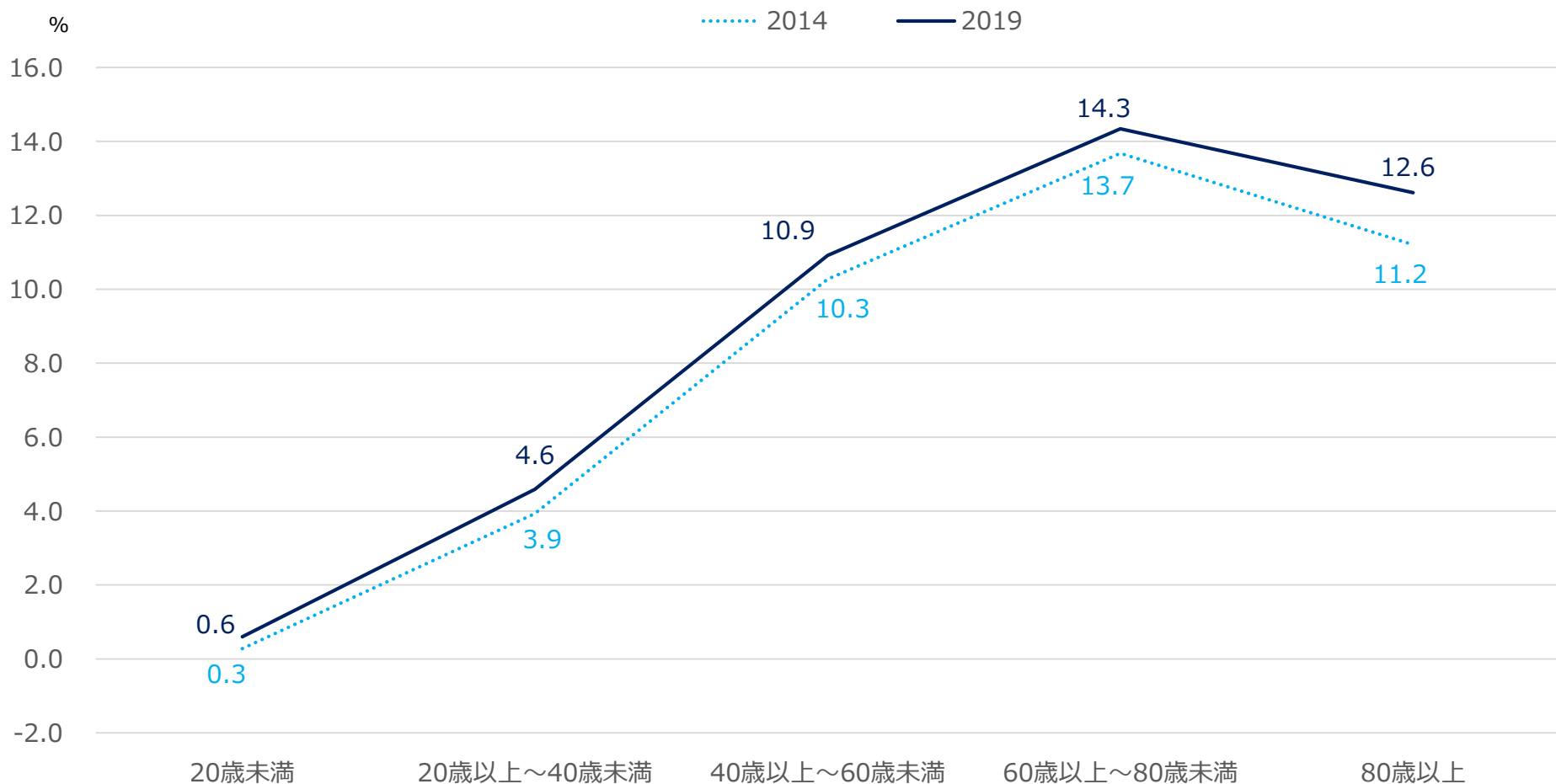
○ 日本の総人口(年齢区分別)の増減率は、80歳以上が増加している。



(出所) 総務省統計局「人口推計」

# 【参考4】日本の総人口と個人株主の比較 (2014年度との比較(年齢区分別))

○ 日本の総人口に占める個人株主の割合は、80歳以上が12.6%であり、2014年度から1.4%ポイント増加している。



(注) 人口推計の数値は10月1日付のものであり、個人株主の数値は3月末日(年度末)の数値を用いている。

(出所) 総務省統計局「人口推計」、証券保管振替機構「株式等振替制度 株式7 年齢別株主数分布状況(人数)【6か月累計】」